

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公害対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	物井 祐太		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	01	公害防止対策の推進				
事業の目的	調査による実態の把握と、公害原因者に対する良好な生活環境への指導と協力。 公害のない良好な生活環境の実現。						
事業の概要	騒音・振動・悪臭等の公害調査を必要に応じ実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,430	2,344	3,203			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	法令の基準値を超えている調査項目数	件	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	調査による実態の把握と、公害原因者に対する指導等を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地下水・河川・農業用水水質検査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	物井 祐太		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	01	公害防止対策の推進				
事業の目的	地下水の飲用適正及び、河川・農業用水の水質を把握する。						
事業の概要	地下水水質検査市内5ヵ所、松島地下水（20世帯）、井戸水放射性物質9地点を年4回 農業用水10地点×2回、五行川2地点×4回、河川水質検査10地点×2回						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,001	2,049	2,754			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	（代替指標）河川の水質検査件数	ヵ所	48/48	46/48	48/48	48/48
	成果	（代替指標）地下水の水質検査件数	ヵ所	57/61	59/61	61	61
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	地下水水質の把握や河川・農業用水水質の調査を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	畜犬登録等事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	物井 祐太		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	02	犬・猫の適正飼養の推進				
事業の目的	畜犬の登録・管理、狂犬病予防注射が実施され、犬の適正な飼育がなされる						
事業の概要	・ 予防注射の周知及び実施、注射済票交付（飼主負担：3,500円） ・ 新規登録受理、鑑札交付（飼主負担：3,000円）、登録事項変更受付等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	448	420	581			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	狂犬病予防注射実施率	%	61.7	61.2	64	64
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	接種率は60%前後で横ばいとなっていることから、一定の啓発普及成果があったと考えられる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	犬及び猫の避妊・去勢手術費補助事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	物井 祐太		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	02	犬・猫の適正飼養の推進				
事業の目的	飼い主の動物愛護精神の醸成、マナーの向上						
事業の概要	飼犬及び飼猫の不必要な妊娠を制限することにより、捨て犬及び捨て猫をなくし、野犬等による事故や苦情の減少を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	810	773	880			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	手術を受けた犬及び猫の累計数		1,733	1,941	2,179	2,417
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	適切な周知を行い、100%に近い予算執行率となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市保健委員事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	阿波 一世		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の環境美化意識が向上する。同時に市の公衆衛生が向上し、健康で住みよいさくら市が形成され、市民に良好な生活環境が提供される。						
事業の概要	市内一斉清掃等、保健委員の環境衛生事務活動及び保健予防活動と、それらの啓発活動の実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,258	1,241	1,275			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	保健委員がとりまとめを行っている事業数	事業数	0	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画2事業に対し、実施事業が2件となったため。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市河川愛護会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	阿波 一世		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の環境美化意識が向上する。同時に市の公衆衛生が向上し、健康で住みよいさくら市が形成され、市民に良好な生活環境が提供される。						
事業の概要	さくら市河川愛護会が実施する、河川を美しく保全するための事業、広報・啓発活動に対して補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	106	106			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	河川清掃によるごみ処理量	kg	0	360	1,300	1,200
	活動	河川清掃の参加人数	人	0	3,311	3,600	3,500
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	指標1については、令和5年度計画1,400kgに対し、実績360kgと1,040kgの減、 指標2については、令和5年度計画3,700人に対し、実績3,311人と389人の減になったため。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		